

どうなってるの？

宮城県議会

水産特区撤回

請願の紹介議員なのに採択には「反対」

県議会は水産特区撤回の請願を不採択しました（10月18日）。請願の紹介議員でありながら、賛成しなかった県議は3人いました（自民、公明、21世紀クラブ）。請願した県民との約束を守らないのでは困ります。

採択	不採択	白票・棄権
共産2人	民主 3人	自民 1人
社民2人	自民30人	公明 1人
民主8人	公明 3人	
自民6人		

自民党

水産業の再建より自分たちのことを優先

“自分たちの支持団体のはずの漁協の幹部が共産党のチラシにでるのはけしからん。だから請願を不採択”——「河北新報」（10月19日）で自民党会派の動向が報じられています。

水産業の再建より、自分たちの事情を優先させるという「党利党略」の姿がしめされました。



請願不採択を報じる各紙

これからが勝負

漁業の再生に全力をつくします



「不採択だったが、逆に浜が団結すれば、漁業の再生につながるのではないか。これからが勝負。党県議団も漁業の再生に全力を尽くす。」

党県議団長 横田有史県議のコメント